

海外で学校へ

—— 海外子女教育の現場 ——

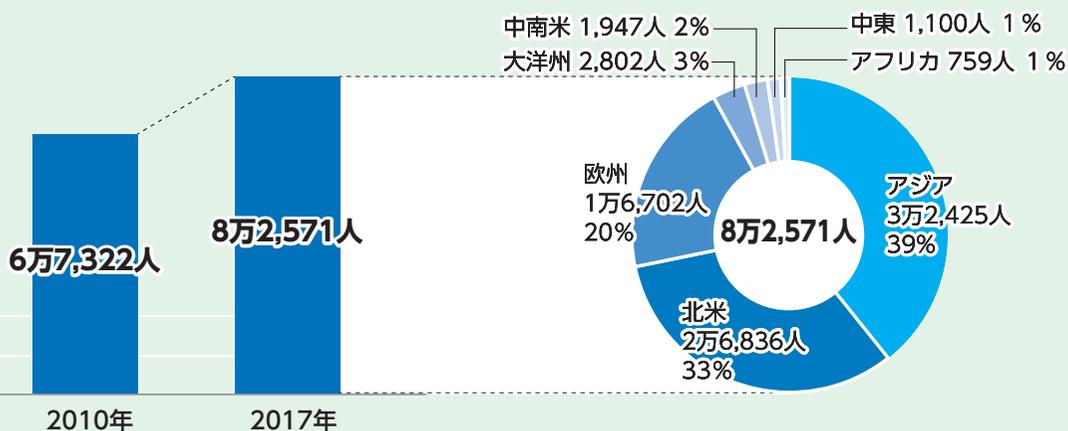
海外の日本人駐在員が帯同する子どもの数は企業の海外展開拡大と共に増加。

外務省によれば、小中学生だけでも8万3千人にのぼる。

企業は人材のグローバル化を志向しており、語学力やグローバルな感覚が身につく環境で一定の年数を過ごす海外子女教育の充実は、グローバル人材を育成していくための裾野の拡大にもつながる可能性を秘めている。

とはいえ、海外の学校への転校を突然言い渡される子どもたちにとって、言葉も文化も違う国や土地で学校生活に順応することはどれほど大変か、想像に難くない。海外の学校への転校は、親にとっても、それ以上に子どもたち本人にとって、人生の一大事と言っていいだろう。

在留邦人子女数(小・中学生)推移と地域別内訳



出所：外務省「海外在留邦人数調査統計」(平成30年版)